

# CASBEE<sup>TM</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	舞鶴赤十字病院・市立舞鶴市民病院	階数	地上4F
建設地	京都府舞鶴市	構造	S造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	250 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年9月24日
敷地面積	24,441 m <sup>2</sup>	作成者	内藤建築事務所
建築面積	3,308 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	8,786 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
 閲覧したい場合は  
 シートの裏表を参照してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%                  ②建築物の取組み 83%                  ③上記+②以外の 83%                  ④上記+ 83%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア= 3.0**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.0	Q2のスコア= 3.3	Q3のスコア= 2.8
音環境 3.3 光・視環境 2.6 熱環境 2.8 空気質環境 3.8	機能性 3.2 耐用性 3.6 対応性 3.1	生物環境 1.0 まちなみ 4.0 地域性 3.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア= 3.2**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.1	LR2のスコア= 3.4	LR3のスコア= 3.1
建物の 2.0 自然エネ 3.5 設備システ 4.3 効率的 3.0	水資源 3.0 非再生材料の 3.5 汚染物質 3.0	地球温暖化 3.6 地域環境 3.1 周辺環境 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合		0
<b>Q1 室内環境</b> ●複層ガラスを設置し、温熱環境の向上	<b>Q2 サービス性能</b> ●間取の変更に対応するため、内部は入れ替え可能な乾式間仕切壁 ●設備の多様化・浸水の影響の無い設置 ●耐震クラス=S	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b> ●複層ガラスの設置●太陽光発電の設置	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ●断熱材のノンフロン化 ●節水型器具の使用	<b>LR3 敷地外環境</b> ●駐輪場・駐車場の十分な台数分を確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される